

市民と市長の意見交換会〈真野地区〉 質疑要旨

日時:令和7年3月16日(日) 13:30～15:10 会場:真野ふるさと会館多目的ホール

参加人数:25名

1. 市政について

市長より説明	(説明内容) ○持続可能な島づくりについて ○令和7年度予算編成方針について ・人口減少対策 ・人口減少社会への対応 ※別紙、配布資料を基に説明する。
--------	--

2. 質疑や意見

質問者 (居住地区)	意見の要旨	市長の回答	関係部署
倉 谷	温泉経営の委託と値上げについて、50円、100円の値上げでも年金生活者には厳しいので値上げをしないほしい。民間委託をするとサービスが低下するのではないか。	人口5万人弱の島に日帰り温泉が6～7箇所もある。民間の温泉も頑張っているので、頑張っている民間に利益が出る仕組みにすればサービスにつながるので、ぜひ行ってもらいたい。 民間移行のために3年間の指定管理期間を設けている、3年間で維持できるよう工夫をして利益の出よう持って行ってほしいと考えてる。	市民生活部
真野新町	上下水道や道路管理、除雪等、人口が減少していくがサービスをどこまで維持できるのか。	水道管も道路も人口が10万人でも1万人でも維持管理の経費は変わらない。国県道は国からお金が出ている。国は水道の広域化を勧めているが離島のハンデがある。 民営化、行政の改善をやれば、維持できると思う。できるだけ民間に手伝ってもらい、サービスを大事にしていきたい。 市の単費を10億減らせば貯金を崩さずに済むと考えている。佐渡は魅力のある商品があるので、ふるさと納税で10億円はいけると考えている。	建設部 上下水道課
真野新町	市営住宅の壁面の見栄えが良くない、塗装をすれば長寿命化にもなるし、住んでいる方々も気持ち良いので、早めの処置をして市の財産を大切にしてほしい。	今は壊れるまで直さないでおいで、直す時には高額になる、言われているとおり、修繕をきちんとやれば施設が長持ちすると考えている。住宅に限らず市で所有している施設は優先順位をつけて修繕しており、翌年の予算での対応となる場合もある。	建設部
真野新町	生ゴミを分別回収し、堆肥(土壌改良剤)にして市民へ安価で提供すれば、燃やす量も減るし有効活用もできて焼却炉の負担も減る。乾燥させる機械の補助はどのくらいか。	生ゴミの堆肥化は民間がやってくれたら良いが、なかなか手間もかかり難しい。商品化しても、売上と経費が合わないと考える。生ゴミ処理は消費者協会がコンポストでやっているが、それすら堆肥をどこでつかったら良いか分からない状態であり、堆肥はチツノ分が少ないのでなかなか使いにくいと承知している。 焼却炉の負担を減らすのは生ゴミを乾燥させる事と、被服類を減らすことが重要。焼却炉を10年延命させるのに50億円もの経費がかかるため、被服類を分別して海外へ送る方が、経費がかかってもトータル的には安くなると考える。 生ゴミを乾燥させる機械の補助金はエコ家電の補助金を使って、半額の補助が出せるように準備している。	市民生活部
真野新町	防災士資格取得の補助について	防災に関しては地域から盛り上げてもらわないと納得のいく結果にならない。地域で防災計画をきちんと立ち上げて、その中で議論していただきたい。	総務部
真野新町	各地域で鳴らしている時報のサイレンや音楽を防災の屋外スピーカーで鳴らす事はできないか、鳴らす事によって故障対策になる。	防災とチャイムは管轄が違う。 人によって欲しい人と迷惑な人がいると考えるが、システム上可能なのか確認したい。	総務部
背 合	定員適正化計画に基づく職員数削減による人件費抑制とあるが、賞与を増額すると言っている事を疑問視する。他の企業は賞与なんか貰っていないはずで、職員や議員の賞与全額カットなどは考えないのか。	他市よりかなり低い金額であり、人事院勧告の制度に基づいて支給されており賞与のみ上げている。	総務部
背 合	外国人への生活保護支給について	生活保護の事業に関して市の財政には関係ない。 法に基づいて動いており、法律で守られている部分はどうにもならない。	社会福祉部

質問者 (居住地区)	意見の要旨	市長の回答	関係部署
吉 岡	飛行機の運航に関して良い話は無いが、市長が飛行機を持ってきてやると言うような意気込み、市民の利便性や経済的な影響やメリットを聞かせてほしい。	ATR42-600Sの機体開発が中止され、大幅な計画変更になり、具体的な運航開始時期は未定な状況にあると承知している。成田・新潟・佐渡間の飛行が検討されていると聞いており、新潟-佐渡で15人しか乗れなくても、新潟-成田は48人乗れるので全体を考えて採算がどうなのかという議論になると考える。	交通政策課
真野新町	真野行政サービスセンターを津波避難ビルにしてほしい。	真野行政サービスセンターは特殊な構造をしているので、エレベーターを作るのも困難と承知している。改修ができないので避難ビルへの変更は不可能と考える。	総務部
倉 谷	佐渡病院は現在赤字であり、5年後には黒字になるとは疑問がある。佐和田図書館を3億かけて複合型図書館にする必要性について疑問がある。	病院経営については診療報酬の制度による影響が大きい。厚生連病院の関係市で9億円程度の支援を行うが、4億円程度は交付税で戻ってくると考える。 佐和田図書館は、子育て支援センターとして活用する。妊産婦が集まって色々話ができる場所、高校生や大人、子どもも遊べる場所として、助産師や保健師を置いて相談できる場所にしたい。	市民生活部 教育委員会